

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に、読めるように大切に保管してください。



漢方製剤

# モリ ビトール

第2類医薬品

(荊芥連翹湯エキス製剤)

## 特 徴

モリ ビトールは、荊芥連翹湯（けいがいれんぎょうとう）という漢方薬のエキスを飲みやすい顆粒剤にしたものです。本剤は、体のみぞおちより上の部位に作用するお薬で、うつ熱をさまし、血のめぐりをよくして副鼻腔炎（ちくのう症）、慢性鼻炎、慢性扁桃炎、にきびを治します。



## 使用上の注意



### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

次の人は服用しないでください。  
生後3ヵ月未満の乳児。



### 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
  - 医師の治療を受けている人。
  - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - 胃腸が弱く下痢しやすい人。
  - 高齢者。
  - 次の症状のある人。  
むくみ
  - 次の診断を受けた人。  
高血圧、心臓病、腎臓病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。  
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
* 腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

- 1ヵ月位服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

## 効能又は効果

体力中等度以上で、皮膚の色が浅黒く、ときに手足の裏に脂汗をかきやすく腹壁が緊張しているものの次の諸症：  
蓄膿症（副鼻腔炎）、慢性鼻炎、慢性扁桃炎、にきび

## 用法及び用量

次の量を食前または食間に、水またはお湯で服用してください。  
(食間とは食後2～3時間を指します)

年 齢	1 回 量	1日服用回数
成人（15歳以上）	1包	3 回
15歳未満7歳以上	$\frac{2}{3}$ 包	
7歳未満4歳以上	$\frac{1}{2}$ 包	
4歳未満2歳以上	$\frac{1}{3}$ 包	
2歳未満	$\frac{1}{4}$ 包	

### <用法及び用量に関連する注意>

- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- 1歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合のみ服用させてください。

## 成分及び分量

本剤3包（1包4.0g）中に、次の生薬から抽出された荊芥連翹湯エキス5.4gが含まれています。

ケイガイ（荊芥）……………1.5g	サンシシ（山梔子）……………1.5g
レンギョウ（連翹）……………1.5g	ビャクシ（白芷）……………1.5g
ハマボウフウ（浜防風）……………1.5g	キキョウ（桔梗）……………1.5g
トウキ（当帰）……………1.5g	カンソウ（甘草）……………1g
センキュウ（川芎）……………1.5g	ジオウ（地黄）……………1.5g
シャクヤク（芍薬）……………1.5g	オウレン（黄連）……………1.5g
サイコ（柴胡）……………1.5g	オウバク（黄柏）……………1.5g
キジツ（枳実）……………1.5g	ハッカ（薄荷）……………1.5g
オウゴン（黄芩）……………1.5g	

添加物として、乳糖、トウモロコシデンプン、ステアリン酸マグネシウムを含有しています。

## 保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
  - 小児の手の届かない所に保管してください。
  - 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります）
  - 1包を分割して服用した残りは、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。
- 本剤は天然の生薬を原料として製造していますので、製品の色や味等に多少の差異が生じることがあります。効果には変わりありません。

## 本剤についてのお問い合わせ先

大杉製薬株式会社 医薬情報部  
〒546-0035 大阪市東住吉区山坂1-8-6  
電話（06）6629-9058  
受付時間 10時から17時まで（土、日、祝日を除く）

大杉製薬株式会社

大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2